



AGS株式会社

東証2部 証券コード3648

2013年3月期 第2四半期決算説明会資料

2012年11月

- I. 2013/3期第2四半期実績
 - II. 2013/3期業績予想
 - III. 中期施策 上期実績と下期取り組み
 - IV. 新経営計画
- 補足資料(会社概要)

I .2013/3期第2四半期実績

1. 2013/3期第2四半期実績 サマリー

(単位:百万円)

	2012/3期2Q	2013/3期2Q			2013/3期2Q 修正予想 (ご参考)
	金額	金額	増減	増減率	金額
売上高	8,106	8,332	225	2.8%	8,300
売上総利益	2,026	1,668	▲358	▲17.7%	—
営業利益	469	194	▲275	▲58.6%	170
営業利益率	5.8%	2.3%	▲3.5P	—	2.0%
経常利益	491	230	▲260	▲53.1%	220
四半期純利益	298	105	▲192	▲64.6%	100
ROE(当期純利益)	3.3%	1.1%	▲2.1P	—	—
ROA(経常利益)	3.6%	1.6%	▲2.1P	—	—

- 売上高は、システム機器販売が堅調であったことにより増収
- 利益は、新データセンター稼働に伴う費用の増加や情報処理サービスにおける機械費の増加等により減益

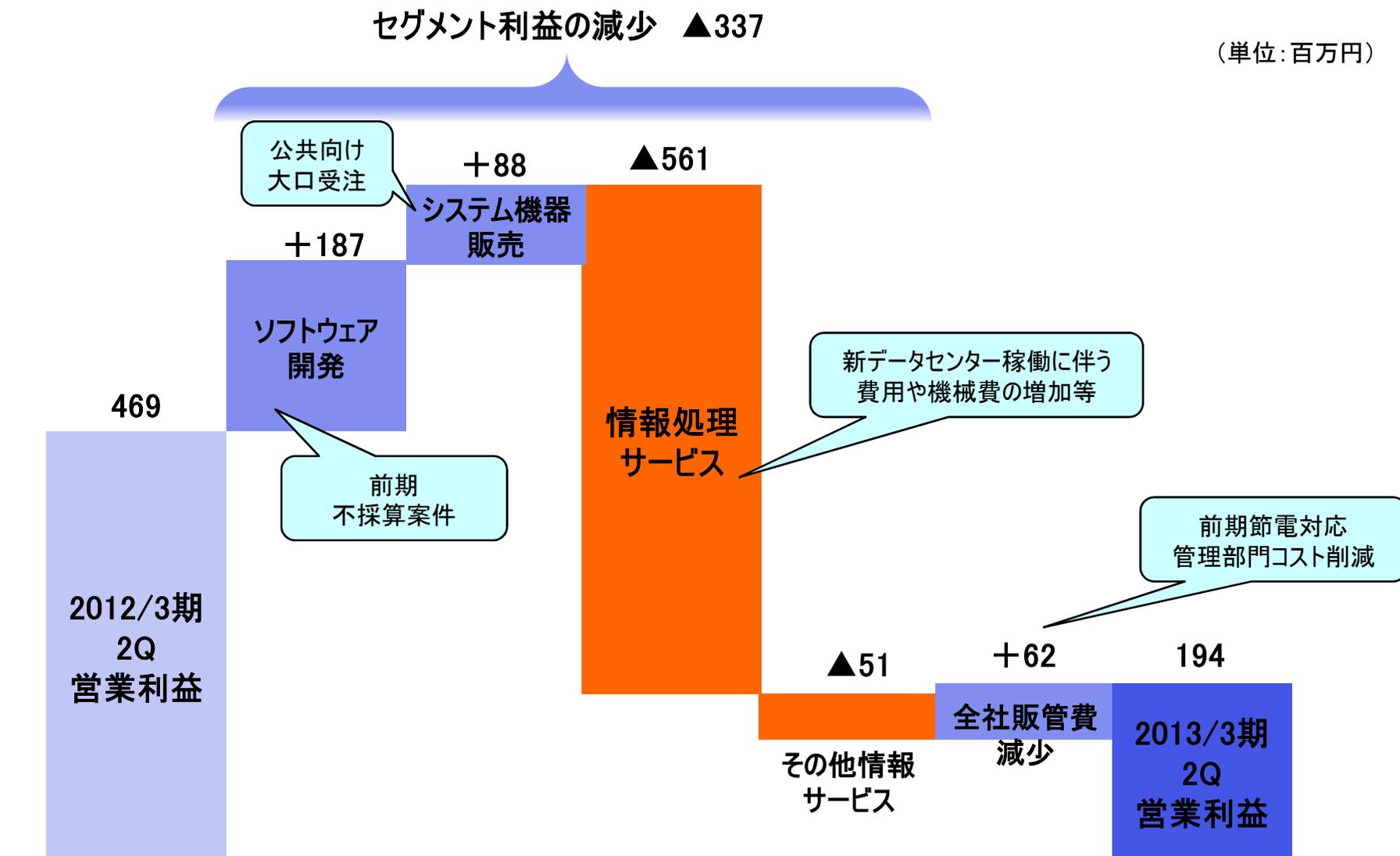
2. 事業セグメント別収益状況

(単位:百万円)

		2012/3期2Q	2013/3期2Q		
		金額	金額	増減	増減率
情報処理 サービス	受託計算	2,307	2,119	▲187	▲8.1%
	アウトソーシング	1,275	1,261	▲13	▲1.1%
	iDCサービス ・インフラサービス	556	641	85	15.3%
	クラウド	87	87	0	▲0.7%
	売上高	4,227	4,110	▲116	▲2.8%
	セグメント利益(営業利益)	871	309	▲561	▲64.5%
ソフトウェア 開発	売上高	2,288	2,138	▲149	▲6.5%
	セグメント利益(営業利益)	133	320	187	140.6%
その他情報 サービス	売上高	992	892	▲99	▲10.0%
	セグメント利益(営業利益)	105	53	▲51	▲48.9%
システム 機器販売	売上高	598	1,189	591	98.9%
	セグメント利益(営業利益)	62	150	88	142.2%

- 情報処理サービス、公共団体向け業務の一部契約終了や金融機関向け運用業務の減少により減収
- ソフトウェア開発は、一般法人向け常駐開発の減少により減収
- その他情報サービスは、公共団体向けパッケージソフト販売関連の減少により減収
- システム機器販売は、公共団体及び一般法人顧客向け機器販売の大口受注により増収

3. 営業利益前年比較



4. 貸借対照表

(単位:百万円)

	2012/3期末	2013/3期2Q末		主要増減要因
	金額	金額	増減	
流動資産	5,426	5,357	▲68	未収入金の減少
固定資産	9,316	9,330	13	リース資産の増加
資産合計	14,742	14,687	▲55	

流動負債	2,944	2,490	▲453	買掛金の減少
固定負債	1,999	2,379	380	リース債務の増加
負債合計	4,943	4,870	▲73	
株主資本	9,254	9,271	17	利益剰余金による増加
純資産合計	9,799	9,817	18	
負債純資産合計	14,742	14,685	▲57	

自己資本比率	63.3%	63.7%	0.3P	
--------	-------	-------	------	--

5. キャッシュ・フロー表

(単位:百万円)

	2012/3期2Q	2013/3期2Q	
	金額	金額	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,249	726	▲522
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲227	▲369	▲141
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲345	▲324	21
現金および現金同等物の増減額	676	33	▲642
現金および現金同等物の期末残高	2,473	2,020	▲452

Ⅱ. 2013/3期業績予想

1. 業績予想サマリー

(単位:百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 予想		
	金額	金額	増減	増減率
売上高	16,294	16,700	405	2.5%
営業利益	875	880	4	0.5%
営業利益率	5.4%	5.3%	▲0.1P	—
経常利益	898	900	2	0.1%
当期純利益	405	520	114	28.2%
一株当たり当期純利益(円)	82.65	105.97	23	—
一株当たり配当金(円)	36.00	36.00	0.00	—

※ 平成24年5月14日に公表しました業績予想からの修正はありません。

2. 事業セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2012/3期 実績	2013/3期 予想		
		金額	金額	増 減	増 減 率
情報処 理サ ービ ス	売上高	8,081	8,290	208	2.6%
	セグメント利益	1,352	1,160	▲192	▲14.2%
ソフトウエ ア開 発	売上高	4,929	4,590	▲339	▲6.9%
	セグメント利益	606	730	123	20.3%
その他情 報サ ービ ス	売上高	2,100	1,980	▲120	▲5.7%
	セグメント利益	221	130	▲91	▲41.2%
シス テ ム 機 器 販 売	売上高	1,183	1,900	716	60.6%
	セグメント利益	82	120	37	44.6%

3. 通期目標達成に向けての重点推進施策

法人部門

- データセンタービジネスの獲得を中心とした営業活動の強化
- 既存顧客に対し、営業と開発が一体となった提案型営業による取引拡大

公共部門

- 自治体クラウド環境構築及び推進強化
- PubLinkerの新規先への販売推進
- 統合収納ソリューションの販売推進

金融部門

- リソナグループとの一層の取引拡大に向けた提案型営業による推進強化
- アライアンス先との連携強化による、リソナグループ以外の新規顧客へのIDC商談の掘り起し

Ⅲ. 中期施策 上期実績と下期取り組み

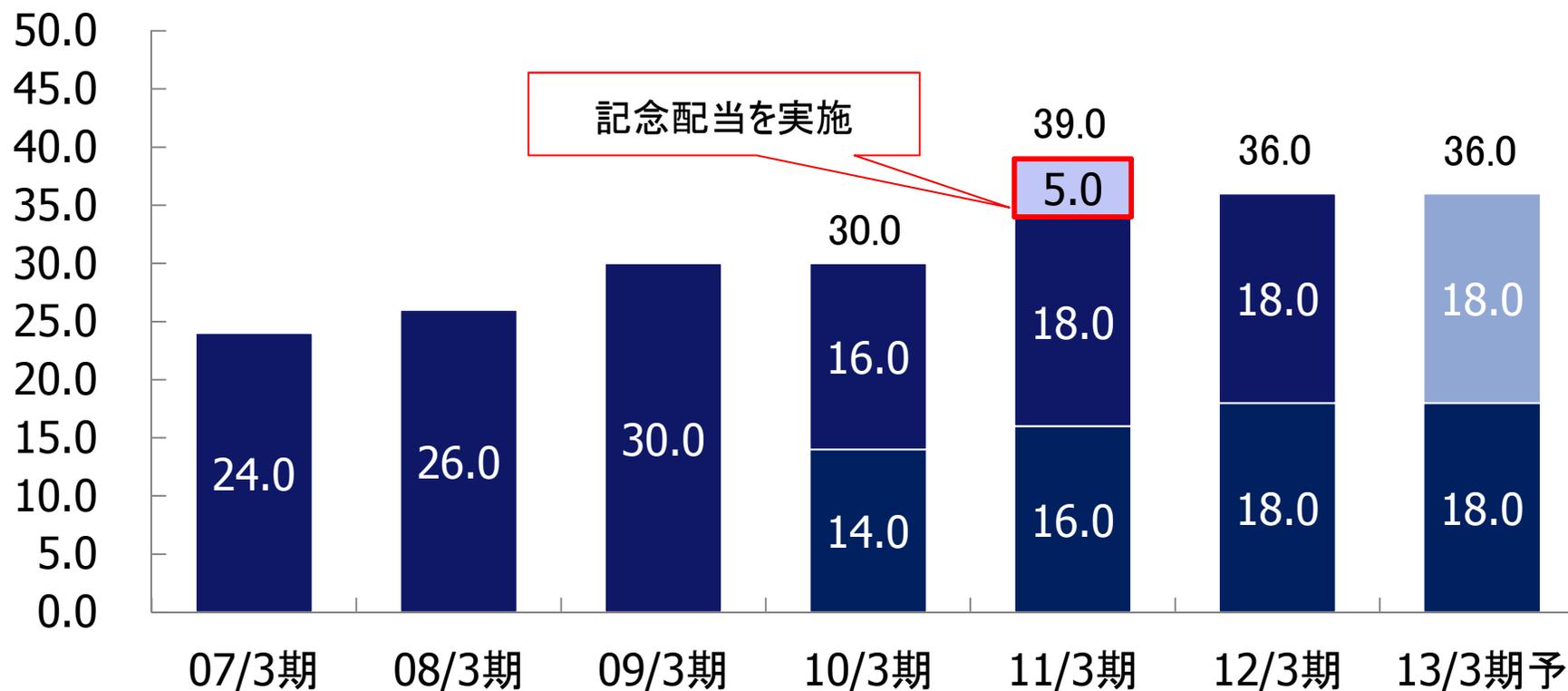
1. 上期実績と下期の取り組み

主要施策	上期の実績	下期の取り組み
データセンタービジネスの強化・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ➤ クラウドビジネス推進室の組成 ⇒クラウドサービスの強化 ⇒iDC販売体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ AGSクラウド共通基盤の刷新 ➤ クラウドサービスの商品化推進
SIビジネスの変革	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 仮想技術に関する要員育成実施 ➤ 高品質・短納期開発のための開発手法の検討開始 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 開発要員のスキルアップ ➤ 高品質・短納期開発のための開発手法の検討 ➤ アジャイル型開発の情報収集
営業力強化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アカウンプランに基づく営業活動実施 ➤ 営業育成プログラムによる研修実施 ➤ アライアンスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アカウンプランのブラッシュアップと商談推進 ➤ 営業支援システム更改を始めとする社内システム改善

2. 配当政策

株主の皆様の期待に応える利益還元を実現

- 事業展開強化による企業価値の向上
- 安定した収益に基づいた継続的な配当



※2009年7月付けで1株→5株に株式分割。2009年3月期以前については遡及修正。

IV.新経営計画

(2013/3月期~2017/3月期)

1. 市場環境①

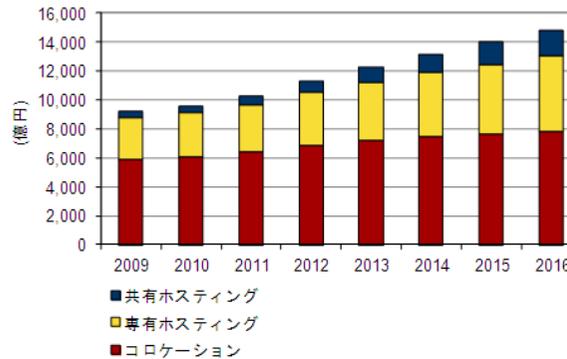
IT市場動向

国内ITサービス市場予測
(IDC JAPANプレスリリース 2012/10/15発表)



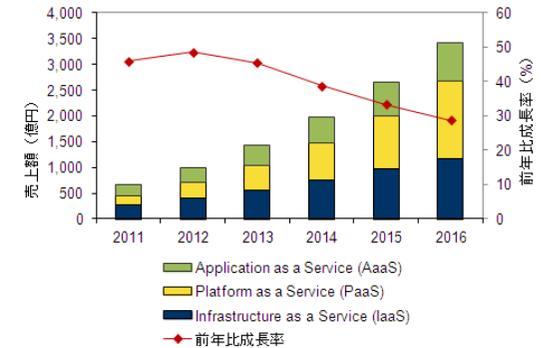
Note: 2010年～2011年は実績値、2012年以降は予測

国内データセンターアウトソーシング市場
セグメント別投資額予測
(IDC JAPANプレスリリース 2012/10/2発表)



Note: 2009年～2011年は実績値、2012年～2016年は予測

国内パブリッククラウドサービス市場
セグメント別売上額予測
(IDC JAPANプレスリリース 2011/11/9発表)



- 国内ITサービス市場全体
企業ITサービスの海外シフト・クラウドの利用拡大によるサービスの低価格化
⇒ 低成長
- ソフトウェア市場
低成長の見込み
- データセンターアウトソーシング
企業ITの災害対策強化のため ⇒ 需要拡大
- クラウドサービス
顧客のクラウド利用によるコスト削減 ⇒ 今後大きな成長が期待できる

1. 市場環境②

顧客市場動向

顧客領域	市場動向
法人	<ul style="list-style-type: none">▶ 東日本大震災等の影響による落ち込みの反動から、2012年以降は製造業を中心にIT投資の回復が期待できる▶ 特に震災を契機としたBCP関連ニーズやクラウドの普及によりデータセンター関連の需要は今後も期待できる
金融	<ul style="list-style-type: none">▶ 金融業界の再編・統合案件は今後も継続し、成長率は鈍化するが、引き続き堅調なIT投資が期待できる▶ 大手銀行のIT投資は勘定系システムに代わり情報系システムが主流となる▶ 地銀、信金は勘定系を含むシステムの共同利用が進む
公共	<ul style="list-style-type: none">▶ 各自治体はコスト削減により、システムの共通化やアウトソーシングニーズが高まる事や制度改正などの特需も予想され、今後も堅調なIT投資が期待できる▶ 国民ID制度導入などの電子行政の推進や、ITによる高度な医療・教育環境の構築等、政府の新情報通信技術戦略に基づく情報通信の活用が進む

2. 長期ビジョン

長期ビジョン

AGSグループはITサービスの高度化を追求し、データセンターを基盤としたアウトソーシング分野においてトップクラスの企業となる

骨子

本経営計画は、経営目標である「持続的に成長可能な経営基盤の構築」の更なる前進を図るべく、当社グループ一丸となって、中長期的な「競争力の強化」にこだわり、新規事業・サービスの創出、既存サービスの改善、業務効率化など事業構造の改革に「挑戦(challenge)」し、当社グループを成長軌道へ確実に乗せて行くファーストステージとする。

3. 重点施策

1. データセンタービジネスの強化・拡大
2. SIビジネスの変革
3. 営業力強化
4. 競争力強化に向けた人事施策の推進
5. 新規事業の創出および新規市場の開拓
6. コーポレートガバナンスの充実とCSR活動の推進

4. 重点施策①

1. データセンタービジネスの強化・拡大

➤ iDCサービスは全社的な販売推進体制を強化し拡販

- ◇営業およびデータセンタービジネス推進組織による、ハウジング、コロケーションサービス、MSP等のiDC既存サービスを拡販する。
- ◇ネットワークやサーバを保護するセキュリティサービスを新たにiDCのメニューへ追加し拡販する。

➤ 周辺サービス(データの入力から処理、出力、後処理)の競争力強化

- ◇大量印刷、封入封緘、保存文書電子化等、既存の周辺サービスを個々に見直し、改善することでサービスレベルを向上させ競争力の強化を図る。
- ◇顧客のニーズや潜在需要を分析し、より最適な機器設備の増強や入替えを実施することで、サービスの提供能力を高める。

➤ クラウドやASP等のサービスの拡充

➤ データセンタービジネス推進専門組織の組成(24年7月実施)

4. 重点施策②

2. SIビジネスの変革

➤ 受託開発の競争力を強化

ソフトウェア開発プロセスを見直し、品質と生産性のさらなる向上を図る

➤ ビジネスモデルの転換

ソフトウェア開発中心のビジネスモデル



ITソリューション型へのビジネスモデル

顧客ニーズの変化・多様化に応えるべくIT戦略策定やクラウド・インテグレーション等への対応力を強化

4. 重点施策③

3. 営業力強化

- 営業育成プログラムによる営業担当者のさらなるスキルアップ
- 提案型のAGS営業スタイルを定着化させ、組織営業力を強化
- 営業支援ツールの充実や販売チャネル強化、AGSブランドの確立

4. 競争力強化に向けた人事施策の推進

- データセンタビジネスとSIビジネスの拡大に資する人材の育成
- 社員の高齢化・グローバル化への対応強化
- 人事・給与制度の再構築

5. 新規事業の創出および新規市場の開拓

- 当社の新たなコアビジネスとなり得る新規事業の創出
- 新規市場の開拓
- 上記および既存事業の強化拡大のため業務提携M&A等の検討・推進

6. コーポレートガバナンスの充実とCSR活動の推進

- 経営効率化の推進
- 内部管理体制の強化
- CSR活動の一環としての社会貢献活動等の推進

5. 連結計数計画

	2012/3期 実績	2017/3期 計画	2012/3期比	
			増減額	増減率
売上高	162.9億円	183.0億円	20億円	+12.3%
営業利益	8.7億円	13.0億円	4.2億円	+48.6%
利益率	5.4%	7.1%	1.7P	—
経常利益	8.9億円	13.0億円	4.0億円	+44.8%
当期純利益	4.0億円	7.8億円	3.7億円	+92.6%

補足資料(会社概要)

1. AGSグループ概要

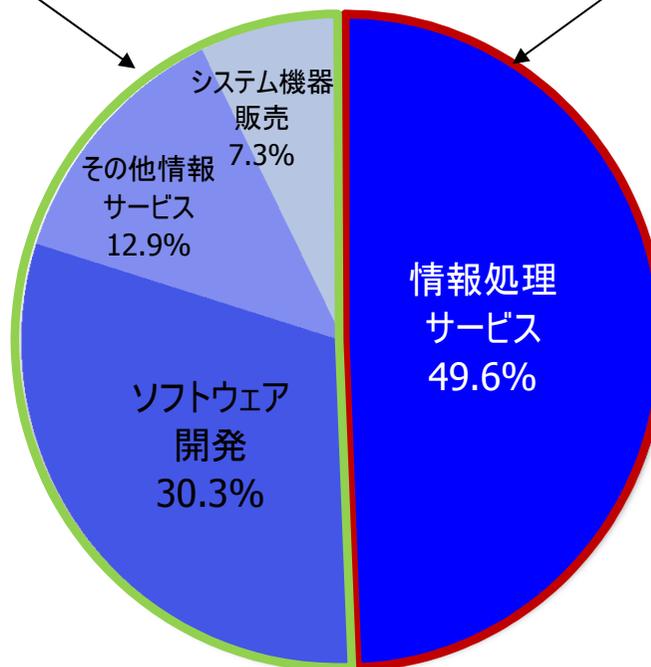
商号	AGS株式会社	 (本社:さくら浦和ビル)  (本社:AGSビル)
設立	1971年7月	
資本金	1,398百万円	
従業員数	連結 947名 (2012年9月末時点)	
本社	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25	
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 ➤ ソフトウェア開発、情報機器の導入・保守他 AGSプロサービス株式会社 ➤ コンピューターシステムの運営他 AGSシステムアドバイザーズ株式会社 ➤ システムコンサルティング	

2. 連結セグメント別売上高構成比

SIビジネス

- システム機器販売
・コンピューター機器、周辺機器の販売
- その他情報サービス
・パッケージ商品販売
・導入支援サービス
・コンピューター機器保守
・情報セキュリティコンサルティング
・内部統制支援サービス等
- ソフトウェア開発
・コンサルティング
・システム設計、構築
・システム保守サポート

【2012年3月期】



データセンタービジネス

- 受託計算
・データ入力 ・計算処理 ・大量印刷
・封入封緘 ・OCR読み取り
・カード発行等
- アウトソーシング
・コンピューターのオペレーション請負
・オペレータ派遣、BPOサービス
- IDCサービス
・ハウジング、コロケーション、ホスティング
(浦和センター及びさいたまセンター)
- クラウドサービス
・SaaS
・ASP

情報処理サービスを中心に総合的なソリューション・サービスを展開

3. 連結顧客領域別売上高構成比

サービス領域

データセンタービジネス

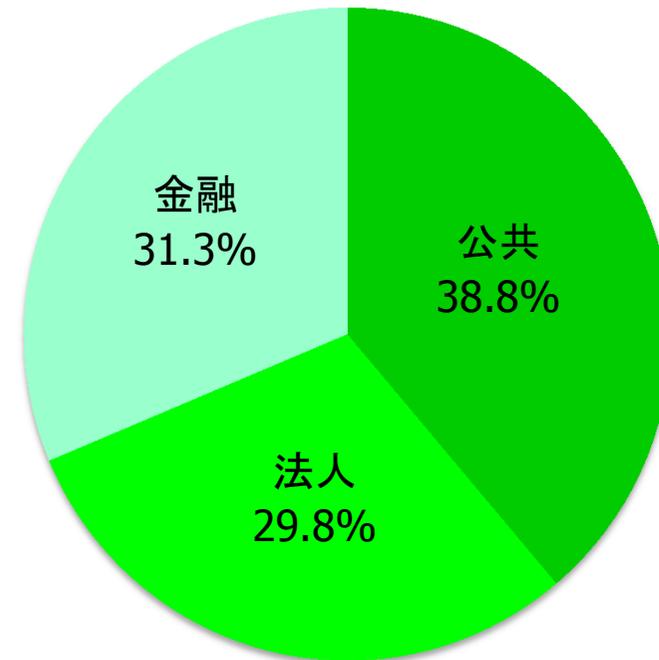
- 金融、国保、共済、自治体などに関わる専門的な業務ノウハウ
- 高品質なソフトウェア開発能力と顧客志向に基づくきめ細やかなサービス



SIビジネス

- 先進的、本格的なデータセンター設備と高い運用能力
- 長年の経験、ノウハウ、信頼を基盤とした独自性の高い受託計算サービス

【2012年3月期】



市場環境に柔軟に対応できる
顧客ポートフォリオを構成

Assuring Growth and Success with IT

『ITで、確かな成長と成功を』



本資料は、この資料に記載しております将来に関する事項は、業界の動向、顧客の状況、その他本資料作成時点で当社が入手可能な情報による判断及び仮定により作成しております。従いまして、これらに内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。